

## 【家庭教育支援チーム】

<b>チーム名 (呼称)</b>	青梅市家庭教育支援チーム (呼称:子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩) URL: <a href="http://www.gekijo.net/">http://www.gekijo.net/</a> <a href="https://www.facebook.com/nishitama.gekijo">https://www.facebook.com/nishitama.gekijo</a>
<b>活動開始年度</b>	1974(昭和 49)年度
<b>活動拠点</b>	青梅市内
<b>活動範囲</b>	東京都西多摩地区全域
<b>活動財源</b>	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (子どもゆめ基金などの助成金を利用 )
<b>組織体制</b>	30 人 (理事) 教員 1 人、民生委員 2 人、保育師 4 人、アーティスト 2 人 臨床心理士 1 人、青年 2 人、他
<b>具体的な活動内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )
	<p><b>【舞台芸術の鑑賞活動】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>身近な場所で、親子で参加できる舞台芸術の鑑賞会を開催している。こころ揺さぶられる感動で心の豊かさを育んでいます。年に 20 回の公演を企画しています。</p> <p><b>【自然を体験する活動】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

親子で 1 泊する親子キャンプを開催、普段できない川遊びや野外料理づくりを楽しみます。



小学 4 年生以上で大人スタッフとテントで 3 泊する子どもキャンプを開催。家庭を離れて仲間たちとつくるキャンプ生活の過程を大切にしています。



ラフティングを開催。自分たちの住んでいる町を流れる多摩川をあまり知らない子どもたち。川という自然の魅力を学び体験します。

#### 【アートコミュニケーションワークショップ活動】



アート芸術遊びのワークショップを開催。子どもたちはその中で自己解放や他者理解、感性を育みます。様々な、場所やプログラムで計画しています。



### 【青年の講座・学び活動】



若者たちは集い学びあい、そして交流する中で自立していきます。そんな活動を実施しています。

### 【地域ネットワーク活動】



ハロウインの活動で地域の老人施設を訪問しています。



経営しているコミュニティーカフェで親子から参加できるコンサートやマジックショー・アートワークショップを開催しています

### 活動の成果

子ども時代に文化芸術・あそびにふれることで、コミュニケーションの力を育むことにつながると考えています。特に、子ども時代にあそびレクリエーション体験を十分に味わうことは、生きる力、人間としての根底をなす人間らしさを育むことにつながると考えています。しかし、子どもを取り巻く状況は、子どもを管理、競争、デジタルゲーム付けにしていまがちです。子どもや親子の生活圏(身近な場)でワクワクする文化・アート活動を展開しています。

### 活動において苦労した点や課題

貧困家庭が増えているので参加費をなるべく低く抑えようとしていますので必要な支払いができていません(スタッフや材料費など)。活動を作るうえでの財政的困難があります。また、子どもたちが忙しく、学校や塾・スポーツ活動で文化的な活動に親子で参加することが減ってきていると感じます。活動への参加呼びかけやプログラミングの工夫に苦労します。

<b>今後の活動目標</b>	より子どもたちの身近な場で親子で参加できる場を地域の大人たちと一緒に作っていただけるようにしたい。理解者を増やすことが目標です。また、中心的に活動するスタッフを確保するためにも財政基盤を豊かにしていきたいと思えます。
<b>問合せ先</b>	(部署・氏名等)事務局長 川崎由保 (TEL)0428-24-8981 (E-mail)nishitama@gekijo.net